

総評：昨年からのコロナ禍の影響で、応募点数を含め様々な心配がありましたが、前回にも増して、総数258点の作品応募がありました。バトンタッチを受け今回から審査（委員長）につきましたが、総じて写真のレベルも高く、皆さんの力量に感心しました。引きつづき、写真制作を通じて自然豊かで魅力ある綾部市の再発見を期待しております。

中田昭（公社・日本写真家協会 会員）

### ●大賞

綾部市長賞「コロナ火（禍）に向かって」

晴れた空と逆光気味の光線が、風景を立体的に浮かびあがらせた。広角で捉えた画面の中で放水の虹色が力強く、また川面の流れが動感を加えている。タイトルとともに現在のコロナ禍を吹き飛ばすような希望が感じられ好感を持てた。

●特選

綾部商工会議所賞「神秘の森・老富」

奥深い森の中で乱舞する蛍の光跡を辛抱強く撮影を続けた力作。特に右手前の大きな蛍光が、画面のポイントとなっている。青白い森の色彩も神秘的。

綾部市文化協会賞「鮮やか！光明寺」

色鮮やかな紅葉をタイミング良く撮影し、場所の臨場感も出ている。上部の晴れた空のブルー、また日陰で沈みがちな部分にストロボ？を当てるなどの工夫が見られる。

京都新聞賞「春の古刹」

遠近感を強調した瓦屋根の先に、今を盛りと咲く満開のしだれ桜。渋い全体の色調がいつでも桜の美しさを引き立てている。小さく写った花頭窓もアクセントになった。

あやべ市民新聞社賞「立秋の風」

対角線魚眼レンズを効果的に使った作品で、  
風鈴と枠ごしに見える青空。太陽のフレアー  
もアクセントになっている。夏から立秋へ、  
その季節感も出ている。

京都府観光連盟賞「秋の朝」

寒暖差で生まれた雲海を、日の出の逆光を効  
果的に使いグラデーション豊かに山並みや  
木々のシルエットがマッチしている。左下の  
色づいた葉が季節感をさらに演出している。

●入選

「夕暮れに佇む」

黄昏時の空と、反射した川面の色彩が美しい。  
女性と橋の欄干がシルエットになって、移ろ  
うひとときを演出している。

「シャガの参道」

シャガの群生が霧に覆われた木立の中へ吸い  
込まれてゆくような印象を覚える。神燈の朱  
色が画面を引き締めている。

「晩秋の夕暮れ」

夕暮れ時の風景と、ポイントとなる釣り人の  
姿をシルエットにした作品。少し上部の空を  
トリミングして、さらにアンダー気味にする  
と印象が強くなる。

「里山は紅く萌えて」

一面の紅いストロベリーキャンドルが広がる  
風景は、北海道やヨーロッパの洒落た風景に

通じるものがある。左側を少しトリミングすると、画面がさらに引き締まる。

#### 「ハイタッチ」

森の緑と服装の色彩、ロープの縦線なども効果的。主題のハイタッチをしている母子の表情がもう少し見えると、写真がさらに生き生きする。

#### 「みんなのひな祭り」

圧倒的な量の人形が飾りつけられた「ひな祭り」。真っ正面から全体を撮影してもまとまりづらいが、青竹の結界が画面を引き締めた。

#### 「あやべ温泉と巨大迷路」

巨大迷路が出現した新風景をドローンによって上空から撮影。斜光線の当たる時間帯を選び、山間の風景と対比させたのは効果的。

### 「映える足元」

自撮りのおもしろさを感じられるフレッシュな作品で、光沢のある黒い靴に映り込んだ空の青と紅葉との色の対比が印象に残る。

### 「銀河流れる」

場所や天候、時期を充分考慮しながら、高感度と長時間露出で捉えた力作。電柱や電線、家屋の明かりも入って物語が感じられる。

### 「秋のランウェイ」

霧の中、散り紅葉の美しい晩秋風景。アングルを下げて遠近感を出し、画面の先に犬と散歩する人物を小さく入れたのが効果的。